

教会と音楽セミナー 第5回

ドイツ・バロック音楽の巨匠 生誕地を訪ねる

第5回は、バッハ、ヘンデル、テレマンなど有名な音楽家が生まれ、活躍した街をとりあげます。中部ドイツの旧東側は、多くの優れた音楽家を生んだ地域です。J.S.バッハの一族は4世代前からこの地域に住み、バッハの親類縁者があちらこちらで音楽家として活躍しました。ヘンデルが生まれ、初めてオルガン演奏の指南を受けた教会や、テレマンがオーケストラを組織して大成功をおさめた教会、また宗教改革で知られるマルティン・ルターが聖書をドイツ語に翻訳した城館や、ロシアの女帝エカテリーナ2世が誕生した城館もこの地域にあります。

大都市の有名観光地と一味違った、素のドイツが垣間みられる魅力的な街々。華やかな音楽とともに迎ってみましょう。

第5回は、中部ドイツでバロック音楽の故郷に陶醉しましょう！

- ◎ 日時： 2018年12月1日(土) 10:30~12:30 (2時間)
- ◎ 場所： Space 415 (JR・メトロ中野駅より徒歩12分)
- ◎ 講座内容：

序： 音楽の巨匠たちを輩出した旧東ドイツの街

1： アイゼナハ

- ・ バッハの出生とバッハ家ゆかりの地
- ・ 聖ゲオルク教会（バッハが洗礼を受けた）

2： ハレ

- ・ ヘンデルの出生と初期の活動
- ・ マルクト教会（バッハの長男がオルガニストを務めた）

3： マグデブルク

- ・ テレマンの出生と教育
- ・ 聖マウリトス大聖堂（ドイツ初のゴシック建築）

4： ツェルプスト

- ・ ロシアの女帝エカテリーナ2世の実家
- ・ 聖バルトロメオ教会（元宮廷礼拝堂）

5： ケーテン

- ・ バッハの宮廷音楽
- ・ 聖アグヌス教会（バッハが2番目の妻と出会った）

6： ライプツィヒ

- ・ バッハとテレマンの活躍
- ・ 聖トーマス教会（バッハが音楽監督兼オルガニストを務めた）



- ◎ 講師： 渡邊 温子（チェンバロ奏者 武蔵野学院大学・大学院非常勤講師）



国立音楽大学、ドイツ・ヴェルツブルグ音楽大学卒。有田千代子、グレン・ウィルソン諸氏に師事。'02年より3年間ワシントンDCに滞在、アメリカ古楽界を牽引する演奏家と共演。現在は演奏活動とともにメールマガジン「月刊バロック通信」や市民講座を通じて古楽の魅力を広める。'16年7月『古楽でめぐるヨーロッパの古都』を上梓。武蔵野学院大学・大学院非常勤講師。タニタ楽器音楽教室チェンバロ科講師。日本チェンバロ協会会員。ブログ：チェンバロ弾きのひとりごと



- ◎ 参加対象： 高校生以上
- ◎ 参加費用： お一人様 3,500円 (税込み)
 ペア割引・お二人様 7,000円 → 6,500円 (税込み)
 ※事前予約・お振込み必要 ※高校生・大学生も同一料金
- ◎ 申込締切： 11月27日(火)お振込み到着分まで
- ◎ キャンセル規定：3日前50%、前々日80%、前日および当日100%
- ◎ 最少催行人数： 8名様 (最大20名様まで)
- ◎ お申込・お問合せ： 株式会社アイ・ティ・エス (i Travel Square)
 website: <http://i-travel-square.tokyo/seminar/church-music/>
 email: info@i-travel-square.tokyo tel: 03-6706-4700